

# 石巻健育会病院

菊池 美咲 ( 師長 / 看護部 )

**功 績** 40代と若くして重度障害となった患者さんの看護だけではなく、ご家族にも寄り添うホスピタリティを実践。残念ながら50代という若さでご逝去に至ったものの、ご家族から『患者だけではなく、家族も救ってくれた』と感謝の言葉とお手紙を頂戴した功績。

**推 薦 者** 伊藤 朋久 ( 連携室室長 / 社会福祉士 / 医療連携室 )

**推 薦 理 由** 長期的な入院が可能となったのも医師の的確な検査と丁寧な診察と治療、看護部の献身的な看護がありour Teamの賜物と考えます。そして今回、ご家族から感謝のお言葉とお手紙を頂いたのは患者家族に一番近い場所で寄り添い、病棟チームを鼓舞し指揮をとる菊池師長の存在があつてこそと感謝の意を込めて理事長賞に推薦いたします。

## 内 容

患者さんは2014年12月に急性心筋梗塞として急性期治療され、蘇生はしたが広範囲な低酸素性脳症となり2015年1月に気管切開、3月に療養病棟に転院致しました。

患者さんは当時40代とまだまだ働き盛りで、大学生3年と1年の子どもを育てながら震災後の自宅再建道半ばでの発症でした。転院時の妻は、一家の大黒柱が倒れた事で強い悲壮感で会話をしても泣いてしまう事が多く今後の生活について常に不安を抱えていました。

病状については、痰の吸引も多く肺炎や症候性てんかんによる痙攣発作を繰り返したりと病状は不安定でありました。その都度主治医より丁寧なインフォームドコンセントが行われ、説明後には看護師がご家族に寄り添ってご家族の理解や受容を確認するなどスピード感を持ちながらもご家族と歩幅を合わせてくれました。病状が落ち着いている時などはご家族来院時にマッサージをして触れていただいたり、リクライニング車イスに乗車しての散歩などご家族との時間についても配慮いたしました。

コロナ禍となってしまつてからは直接ご本人に触れていただく事は難しくなりましたが、患者さんのご様子を電話やWeb、インスタックス ( 写真動画 ) を積極的に利用し様子を共有することに努めました。

2023年9月末より病態は徐々に悪くなり2023年10月にご家族に見守られながらご逝去されました。

退院後に妻が来院され、無事に四十九日の法要を済ませることができたとの報告と看護師長さんをはじめスタッフに対する感謝の言葉とお手紙を頂戴しました。